

「ヘルペス手記」 小野純子 51 歳

2013 年 2 月 5 日

メニエール病手記（中間報告）

今から 20 年前、平成 5 年 8 月末 31 歳の時でした。
大きな仕事が一段落着いた日の翌朝、いつもどおり起床しようとした時
異変が起きました。目がぐるぐるまわって吐き気と嘔吐で立つことも歩くこと
もできない状態でした。
これはただごとではないと嫌な予感がしたのを覚えています。
全く動けない状態で就床するのみで一日が過ぎました。
それから 2～3 日で日常生活ができるようになってきましたが、ふらつきはなか
なか治まりませんでした。

あの激しいめまいは一体何だったのだろうと思いかかりつけの内科医を受診し
たところ「自律神経失調症」という診断でした。
その後 1 年に数回このような発作が起こり、かかりつけの医師の紹介で大学病
院を受診しました。
数々の検査を経て「メニエール病」という診断がなされました。
病名が判ってこれで治療をしていただけるものと期待していましたが、
処方されたイソパイドという液体の薬を服用しても病状の改善はみられません
でした。
それでも 1 年位は通院しましたが病院が遠いと発作時に診てもらうこともでき
ず事後報告ばかりで薬を処方してもらうことに疑問を感じ家から近い医院を探
すことにしました。
そんな折、職場の同僚がインターネットでめまいを専門とする耳鼻科を探して
くれましたので受診しました。再び数々の検査を経て「メニエール病」という
診断がなされました。
体の水はけをよくするための漢方薬（顆粒）と発作時に服用するめまい止め・
精神安定剤が処方されました。
漢方薬ならよくなるかもしれないと期待しこの十数年ずっと服用してきました
が病状は一向に改善されませんでした。

私は仕事をしておりましたが、発作はほとんど連休の初日に起こっておりまし
たので欠勤することは少なく、持病があっても仕事は辞めずに続けることがで

きました。

それでもまたいつ、めまいが起こるか不安で暗澹とした気持ちで毎日を過ごしてきました。

平成24年春、50歳になり体力的に自信がなくなり20年近く勤めた事務所を辞めました。体は楽になったはずなのに頻繁に発作が起こり途方に暮れていました。

そんなある日、インターネットで「メニエール病完治」と検索したところ松本医院のホームページにたどり着きました。

松本先生が書いておられる「メニエール病は完治する その理論と証拠」をすぐさま読みました。

小学生の頃から口唇ヘルペスが悩みの種でありましたがこのウィルスがメニエール病にも起因しているとは思ってもいませんでした。

松本医院が近隣の高槻市にあることを知り迷うことなく受診しました。

漢方薬のにおいがする医院で初めて松本先生にお会いして、先生が「必ず治してあげるから」「治らん病気はない」とかたく手を握りしめて下さったことは私の人生の中で何より嬉しい瞬間でした。

これまで受けたことのない詳細な血液検査をしていただき単純ヘルペスの抗体値がヘルペスに罹っていない人の100倍以上という異常な数値を示していたことで発病から20年も経って初めて自分の病気を数値をもって知ることとなりました。

抗ヘルペス剤と煎じ薬を処方していただき初診から2ヶ月が経過しますが、次第にめまいを感じることもなくなり長年の偏頭痛もなくなり何より便秘まで解消され体調がよくなってきました。

近々社会に復帰します。

これからは不安のない健康な体で働くことができます。

今回は中間報告とさせていただきますが、近い将来単純ヘルペスの抗体値が下がり完治の報告ができることを確信しております。

松本先生、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。